

あくね 市議会だより

6月定例会・第1回臨時会

今号の主な内容

第1回臨時会	新たな議会体制でスタート……………	2
6月定例会	まちづくりビジョン認定ほか……………	4
討論～多くの賛否活発に～……………		9
各議員が市政を問う～一般質問～……………		11



二次元コード

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

阿久根市議会

検索

いらっしやいませ夏の海
～阿久根大島～

令和7年8月14日発行 (No.229)



阿久根市議会

新たな議会体制でスタート

牟田学氏が第38代議長に選出。副議長には、濱田洋一氏が再選出

議長就任あいさつ

市民の皆様には、日ごろから市議会活動に御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

去る5月9日の令和7年第2回市議会臨時会におきまして、第38代議長に就任いたしました。

改めてその任務と使命の重大さを思うと、身の引き締まる思いでございます。

令和5年4月に市議会議員の改選が行われ、2年が経過しました。その間、議会では市の各種施策に対し多様な意見が出されるなど政策論争を繰り広げております。

議会として、市民の皆様の多様な御意見を聞き、議論をし、市民の皆様の思いが市政に反映されますように、議員一同、さらに研さんを重ね、議員としての責務を果たして参ります。

「議員と語る会」についても、継続して開催し、各地域の多様な声を市政に反映できるよう取り組んでまいります。

今後とも一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



第38代議長

む た まなぶ
牟田 学

正・副議長選挙が行われました

阿久根市議会では、令和5年の議長・副議長選挙から希望する議員はあらかじめ立候補を表明し、本会議において所信表明を発言することとしました。

その様子はQRで御覧いただけます。

なお、投票結果は次のとおりです。

議長選挙投票結果

投票総数14票

- ・牟田 学議員 9票
- ・渡辺 久治議員 3票
- ・竹原 信一議員 1票
- ・川畑 二美議員 1票



所信表明
QR

副議長選挙投票結果

投票総数14票（無効1票）

- ・濱田 洋一議員 9票
- ・大野 雅子議員 4票



所信表明
QR



副議長

は ま だ よういち
濱田 洋一

総務文教委員会 (7人)



白石純一 大田基次 ◎川原慎一 木下孝行 牟田学 大野雅子 ○竹之内和満

産業厚生委員会 (7人)



濱田洋一 ○川畑二美 ◎高崎良二 山田勝 渡辺久治 飯屋園一徳 竹原信一

議会運営委員会 (6人)



川原慎一 高崎良二 ◎木下孝行 ○渡辺久治 山田勝 大野雅子

広報広聴委員会 (6人)

竹原信一 渡辺久治 川原慎一 川畑二美 ○竹之内和満 ◎大野雅子

予算委員会 (13人)

除く11名。
委員は議長を
◎渡辺久治
○大田基次

阿久根地区消防組合 議会議員 (3人)

濱田洋一 大野雅子 川原慎一

北薩広域行政事務 組合議会議員 (3人)

木下孝行 竹原信一 高崎良二

学校規模適正化調査 特別委員会 (13人)

除く11名。
委員は議長を
◎濱田洋一
○高崎良二

阿久根市まちづくりビジョンを可決

これからのまちの方向性が決定



まちづくりビジョンは
令和7年度～令和11年度の
本市の基本的かつ総合的な
まちづくりの指針で
地域の活性化に関する施策の
基本的な計画をまとめたものです。

令和32年（2050年）
阿久根市目標人口
10,800人を維持する

阿久根市まちづくりビジョン 基本目標

〓 誰一人取り残さない、笑顔あふれる阿久根市へ！ //

令和32年（2050年）の人口目標達成のため、また、今後5年間の人口減少を緩やかに
するため、6つの基本目標を掲げ、誰一人取り残さない阿久根市を目指します。

MAKE THE NEXT AKUNE 次の阿久根をつくる。

基本目標 1

MAKE THE INDUSTRIAL GROWTH AKUNE
阿久根に産業の成長をつくる。

Step <数値目標> 市町村別所得

<基準値> 243万円 / <目標値> 県平均以上【毎年】

基本目標 2

MAKE THE PEOPLE MOVEMENT AKUNE
阿久根に人の流れをつくる。

Step <数値目標> 観光消費額（増加率）

<基準値> 対県平均増加率 県平均13.8% / <目標値> 対県平均増加率 県平均以上【毎年】

基本目標 3

MAKE THE LOVING FAMILY AKUNE
阿久根に家族の夢をつくる。

Step <数値目標> 若年夫婦（20～30歳代）人口減少率

<基準値> 11.2% / <目標値> 基準値以下【毎年】

基本目標 4

MAKE THE HEALTHY COMMUNITY AKUNE
阿久根に健康生活、共同の輪をつくる。

Step <数値目標> 健康寿命

<基準値> 男 76.5歳 女 83.4歳 / <目標値> 国平均値以上【毎年】

基本目標 5

MAKE THE SAFETY&COMFORT AKUNE
阿久根に安全で快適な環境をつくる。

Step <数値目標> マイクログッド事業をはじめとしたCO2削減量

<基準値> 436.5t-CO2 / <目標値> 678.0t-CO2【毎年】

基本目標 6

MAKE THE DIGITAL LIFE AKUNE
阿久根にデジタル生活基盤をつくる。

Step <数値目標> 行かない・来かない窓口利用者の満足度

<基準値> 3.29 / <目標値> 3.50【毎年】



基本目標に紐づく施策及び成果評価指標（KPI）

令和32年（2050年）に達成したい人口ビジョンを定め、
市の将来像を実現するための施策を基本理念とブランディ
ング・コア・アイディアに沿うように作成しています。

ありたいまちの姿を基本目標として6つにまとめ、そ
してそれを実現するための具体的施策を掲げ、各施策に
成果目標を数字で定めています。

若者や女性にも選ば
れる地方を作る・人口
減少が進む中でも「稼
げる地方」をつくる・
地方イノベーション創
生構想・自治体の区域
を超えた官民連携・新
時代のインフラ整備・
関係人口を活かした都
市と地方の支え合い・
人口減少適応策。
交通空白解消、医療
介護の新たな提供体
制、AI時代のデジタ
ル人材を育成など。

※地方創世2025年よ
り
本構想2025年よ
り

136号第1条
ひと・しごと創生法
境確保による活力ある
日本社会を維持「まち・
ひと・しごと創生法
136号第1条」

豆知識 【国の政策】
※地方創世10（ま
ち・ひと・しごと創
生総合戦略2015
年より）
少子高齢化への対
応、人口減少に歯止め、
東京圏への人口の過度
の集中を是正、地域環
境確保による活力ある
日本社会を維持「まち・
ひと・しごと創生法
136号第1条」

6月定例会

令和7年6月11日～7月2日（22日間）

移住定住の促進・農村生産基盤の強化・橋梁維持に

6月

補正予算

1億2,691万8,000円を追加し、総額134億5,691万8,000円に

・お試し移住体験住宅事業

・移住促進レンタカー補助事業 255万円

市内の一軒家及び備品を準備し、最大30泊31日の利用が可能。また、移住体験に伴うレンタカー利用補助。

・保育所等給食支援事業 941万円

物価高騰。保育所等における給食経費支援。

・橋りょう改修事業 2,219万円 佐潟橋の修繕工事。

・コロナウイルスワクチン接種助成 2,462万円 他

・折多排水機場ポンプ修繕 508万円

・農村地域防災減災事業 137万円

・農村災害対策事業(北部) 400万円

・農業競争力強化基盤整備事業 2,590万円

筒田、山下、田代地区用水路改修、浦地区農業用ポンプ整備。

選挙

市選挙管理委員会委員及び
補充員の選挙
選挙管理委員

・芝越 博美氏

・松元 安秀氏

・補
充
員

1 川原 克郎氏

3 濱川 恵子氏

・榎八重 勝氏

・竹原 美佐子氏

2 川畑 ゆかり氏

4 上堀 博氏



陳情

・ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択を求める陳情

・「カリキュラム・オーバード」の改善を求める意見書採択を求める陳情

ともに趣旨採択

↓委員会審査は8ページをご参照ください。

条例

・市税条例の一部改正
地方税法等の一部が改正。

・市営住宅条例の一部改正

老朽化した市営住宅の用途を廃止。

・給水条例の一部改正

災害その他非常時、管理者以外の水道事業者が指定した者による給水装置工事を可能とする。

教育委員会の委員の任命

・上池 浩策氏（新任）

まちづくりビジョン修正案は否決

まちづくりビジョンに対する修正案が提出されましたが、否決され、原案が可決されました。

修正案の主な内容は次のとおりです。

・教育分野で統廃合の検討に関する箇所の見直し

・目標が正しく翻訳されていない英文の削除

予算委員会

〇一般会計補正予算 (第1号)

一般会計補正 予算(第1号)

原案可決

賛成多数

所管課への主な質疑

総務課消防係

漁船の座礁にともなう
搜索活動中、重油により
汚染された潜水隊の潜水
器具等の更新について

Q 消防隊員の重油汚染
の状況は。

A 潜水隊が出動して船
内の搜索中、重油が漏れ
出して潜水器具等を汚染



した。潜水器具は油類に
非常に弱く、洗浄しても
臭いも取れず、そのまま
装着させられないので、
新たに2着を更新しよう
とするものである。

企画推進課

お試し移住体験住宅事
業と、それに付随する移
住促進レンタカー補助事
業について

Q 住宅は、実際に特定
した物件があるのか。

A 調整中であり、具体
的なところまでは詰めら
れていない。

Q レンタカー補助は車
を購入するのか、借りる
のか。

A 移住者がレンタルし
ていただき、その費用を
市が補助する。

Q 必要な経費の補助額
の算定は。

A 補助対象経費は、レ
ンタカー及びチャイルド
シート等の賃借料を想定
している。補助金額につ
いては、費用の2分の1
以内、上限5万円で検討
している。

Q レンタカー補助の期
間は決まっているのか。

A お試し移住体験住宅
事業と連動させる形を考
えている。体験住宅事業
自体が、最大30泊31日と
なるので、レンタカーに
についても30日以内が限度
になる。

Q どのような形で募集
するのか。

A 市ホームページ、公



式SNSだけでなく、都
市圏開催の移住イベント
等にも積極的に参加し、
地域おこし協力隊も活用
して発信したい。

こども保健課

新型コロナウイルスの
個別予防接種業務につい
て

Q レプリコンという名
前のワクチンがある。今
回のワクチンに含まれる
予定か。

A 今回使用されるワク
チンの種類については、
まだ決定していない。

農政林務課

農村災害対策事業(阿
久根北部)補助及び交付
金の負担金について

Q 阿久根市が起債をし
て負担金を出す、その
仕組みは。

A 事業期間は令和2年
度から7年度、全体の事
業費は5億1150万円、
全部である。ため池・避
難道路・排水路の総計16
か所の事業であり、県が
実施主体で、国55%、県
40%、市5%の負担割合
である。

事業の流れは。

A 県からの打診で、地
域説明会を実施して要望
を取り、市町村で取りま

とめを行い、県に申請す
る。それに基づいて事業
内容が確定し、それぞれの
年度の確定した予算の
負担金を払っていく。

意見 桐野のある場所
は大雨災害で、前年度は
県道も崩壊した。市長も
県議も一緒になって、県
や国に予算を上げるよう
お願いしなければならな
い。

討議・討論はなく、採
決の結果、賛成多数によ
り、原案のとおり可決す
べきものと決しました。



まちづくりビジョン審査特別委員会

まちづくりビジョン

原案可決

賛成多数

まちづくりビジョンの期間

令和7年から11年までの5年間

審査日

6月18日、19日の2日間

所管課への主な質疑

概要、人口ビジョン、総合戦略の総括的な事項

Q 出生数の目標値は。

A 前回のビジョンで、2060年に1万8000人としていたが、2050年に1万8000人をき

るとされたことを重く受け止め、10年前倒しして1万8000人を達成しようとする目標を設定した。人口減少を抑制する施策を行い、人口減少カーブを緩やかにしていく。



Q 若い女性の転入転出と合計特殊出生率との関係は。

A 女性が増える、出産、子育てと繋がっていく可能性が増えると思う。

若者、特に女性に選んでいただけるような地域づくりを進めると、合計特殊出生率も改善していくと考える。

Q まちづくりビジョンを途中で振り返るのは何年後か。

A 外部の有識者を交えた策定検証委員会を毎年開き、1年の結果について検証している。

基本目標1

阿久根に産業の成長をつくる。

Q 市町村民所得243万円の根拠は。

A 市町村民経済計算の令和4年度の数値である。



Q 新規漁業者及び新規就農業者の育成・確保の拡充については。

A 漁業は、正組合員年間3名の確保を目標として年齢を引き上げる。農業は、就農意欲のある地域人材の掘り起こしや就農希望者と積極的に面接等を行い、新規就農者の確保に努め、機械導入時の3割補助、作物被害時の収入保険等の支援を活用。



Q 新たな企業の誘致については。

A 企業立地促進補助金の対象企業を回ることを検討。製造業もしくはその研究開発、ソフト産業の用に供する施設を有する施設等、情報サービス業、ソフト産業等である。

基本目標2

阿久根に人の流れをつくる。

Q ふるさと納税の推進については。

A インターネットのポータルサイトを現在、19サイト登録している。インターネットで商品が多くの方の目に触れるところから、納税の寄附につながるような工夫を行っている。

Q 自主文化事業の実施については。

A 開館以来、年15事業程度を実施、増やすことは難しいが、中身を充実させていきたい。

基本目標3

阿久根に家族の夢をつくる。

Q 縁結びサポート事業については。

A 結婚を希望する独身者を市の縁結びサポーターが支援する事業に令和6年度までに10名の登録目標はその倍を設定。

基本目標4

阿久根に健康生活、共同の輪をつくる。

Q 外出機会の創出の主な施策は。

A 高齢者福祉タクシーの充実、目標値70%、ころばん体操は令和6年度末、開催区55区、登録者数864人である。

基本目標5

阿久根に安全で快適な環境をつくる。

Q 日本版ライドシェア等の導入検討については。

A 阿久根市でも交通空白時間帯があるということとその可能性を本年度調査する。

2名の委員が総括した質疑を行い、質疑を終了した後、1人の委員から修正案が発議され、修正案に対し質疑・討議があり、修正案に反対、原案に反対、賛成の討論があり、採決の結果、修正案は賛成少数で否決、原案は賛成多数により可決すべきものと決しました。



総務文教委員会

○ゆたかな学びの実現・
教職員定数改善、義務
教育費国庫負担制度の
負担率の引上げをはか
るための、2026年
度政府予算に係る意見
書採択を求める陳情

陳情第4号

趣旨採択

賛成多数

陳情の目的

教育の機会均等と水準
の維持向上、子どもにゆ
たかな学びの保障と教職
員の働き方改革のために、
定数改善と国庫負担割合
の引上げが必要であると
して、関係機関へ意見書
提出を求めるもの。

所管課への主な質疑

Q 複式学級で1学年は
授業、もう1学年は自習
になるが、授業の組立て
が負担ではないか。

A 実際負担である。授
業の計画をみっちり立て
ないと子どもたちが何を
すればいいかという、空
白の時間ができる。

討論

委員

この陳情は国に議
会として意見書の提出を
願う陳情である。陳情の
全項目に採択できないの
で一部採択と考える。



委員

陳情内容につい
て、本市の現状において
採択できるもの、出来な
いものとあるので、趣旨
採択が妥当である。

採決の結果、賛成多数
により、趣旨採択すべき
ものと決しました。



陳情書

○「カリキュラム・オー バーロード」の改善を 求める意見書採択を求 める陳情

陳情第5号

趣旨採択

賛成多数

陳情の目的

教職員の長時間労働に
より、教材研究や授業準
備の時間が不足している
現状がある。子どもたち
の学びと、教職員の働き
方改革を阻害する「カリ
キュラム・オーバーロー
ド」の状態にあるため、
次期学習指導要領の内容
を精選し、授業時数を削
減する意見書提出を求め
るもの。

参考人（陳情者）への主 な質疑

Q 授業時数を減らすと、
教える内容を減らすこと
になるが、どう減らすか。

A 量から質の転換で、
ゆとりを持ち深く学ぶこ



陳情書

所管課への主な質疑

Q 諸外国と比べ、日本
はカリキュラム・オーバ
ーロードの分析はあるか。

A 欧州の国と比べて、
現在はオーバーロードで
あると認識している。

討論

委員

諸外国の子どもに
比べると、日本の子ども
は学校にいる時間が長
く、のびのびとしていな
いと感じる・意見書を出
すべき。

委員 次期学習指導要領
の改訂に学力低下させ
ず、授業時数削減は難し
いので趣旨採択が妥当。

採決の結果、賛成多数
により、趣旨採択すべき
ものと決しました。



討論

多くの賛否活発に

〇まちづくりビジョン

賛成 竹之内和満議員
持続可能なまちづくり

消滅可能性自治体の根拠とされる若年女性の減少は令和5年には僅かながら増加に転じ、合計特殊出生率についても令和5年に県平均を上回り、切れ目のない子育て世帯への支援への成果が出始めている。ビジョンの中ではほかにも効果的な施策があり、基本目標を確実に達成することで持続可能なまちづくりができるものと考えている。

賛成 渡辺 久治議員
若手職員主体の取組

ビジョン根幹のアイデア策定を、次世代を担う若手職員主体で取り組んだことに期待する。人口ビジョンに外国人も含まれることで色んな分野での持続可能性を確認した。再生可能エネルギーは洋上風力発電での漁業者との協働が新たな産業の創出に繋がると思う。教育では、統廃合決定ではなく検討事項とすること、特認校制度や複式学級のノウハウを継承する可能性が残されていると解釈し、賛成する。

反対 竹原 信一議員
誰の未来を描くのか

本案は、形式主義で阿久根を消滅可能性のまちに縛っている。

現場と向き合わない態度が、案の空虚さと乖離を象徴している。

財政の健全性を強調したが、ハコモノ投資のために積まれただけ。

ビジョンは誰かの夢ではなく、市民が今と向き合い、自らの力で紡ぐ未来への誓い。現実の痛みや課題を見ず、誰の未来を描こうとしているのか。

反対 川畑 二美議員
疑問点も多い

疑問点も多く、市民に寄り添っていない点などあるのではないか。大変便利で幸せだと感じている方々は、私には話が聞こえてこない。

いろんな面で不足も多しと思ひ、反対する。

賛成 川原 慎一議員
議員も共に努力すべき

いずれも本市の将来像を明るくするための、言わば挑戦とも言うべき内容である。本市の人口減少を鈍化させ、若い世代が住みやすく、子育てしやすいまちづくりを目指すビジョンであり、議員も共に努力すべき。

修正案は、目標に多様な意見の傾聴という、既にやっていることを入れており、市民に誤解を招くことを考え、反対する。

賛成 濱田 洋一議員
まちづくりは人づくり

住んでよかったと思えるまちづくりの実現になくてはならない指針。6つの具体的な基本目標を掲げ、基本施策における現状と課題、その解決に向けた施策が盛り込まれている。

まちづくりは人づくり。様々な分野で、市民の方々と一緒になって取り組み、議員も一体となつて市の将来像の実現のために努めていくことが大事である。

賛成 渡辺 久治議員
〇給水条例の一部改正
大規模災害への備え

この条例改正の背景には、近年頻発する気候変動による大規模災害への備えがある。一自治体だけでは復旧に十分な人員の確保が難しく、他の自治体の協力の必要性が想定される。今回の改正により、災害時の柔軟な対応が可能になり、より迅速な復旧が可能となるのは意義がある。

〇一般会計補正予算(第1号)

反対 竹原 信一議員
県内も事例あり

コロナワクチンの全国の副反応疑いによる死亡事例は2200人以上。県内でも補償を求めた173件中120件が認定、うち8件は死亡認定されている。

一人一人の生活、人生、家族の未来がワクチン接種後に断たれたという現実である。市は危険性を知らせようとせず、ワクチンを推進しようとしている。

趣旨採択 渡辺 久治議員
ノウハウを残すべき

陳情者が要請している措置項目に「複式学級を解消すること」とある。確かに複数学年の授業準備や、先生の経験や力量に大きく依存することを考えると解消した方が良くないかもしれない。しかしながら、地方における今後益々の少子化の流れに対応していくには、複式学級の経験値、ノウハウは何らかの形で残していくべきと考え、趣旨採択とする。

反対 川畑 二美議員
検討課題が多い

移住定住・交流人口増は、市営住宅の利用等、工夫が必要ではないか。阿久根市に移住してもうらうためには検討課題が多くあり、反対。

〇教職員の定数改善などの陳情

採択 竹原 信一議員
現場の苦悩

制度的限界に押し潰さ

採択 川畑 二美議員
考えないといけない

教職員の立場から、国
に対して教育行政の改善
等を求めている。全て国
の教育行政が考えていか
ないといけないこと。

一部採択 白石 純一議員
趣旨採択は疑問

1、4項目め（教職員
定数改善、義務教育国庫
負担割合の引上げ）は、
教育環境は時代とともに
変わるが、基本的に大き
くは変わらない。また、
3項目め（特別支援学級
籍の子どもを交流学級で
も在籍数としてカウン
ト）は、すぐできるか分
からないとして趣旨採択
にするのはふさわしくな
いので陳情者の提案のと
おり。複式学級を残して
いる自治体も数多くある
ので2項目め（複式学級
の解消）を除く一部採択。

**○カリキュラム・オー
バーロード改善の陳情**

採択 竹原 信一議員
教育の意味を問う時
「過剰な教育内容が現

場と子どもを壊してい
る」という緊急の警告、
制度改革の具体的要求で
ある。「教育の量」では
なく「意味」を問うべき
時が来ているにもかかわ
らず、議会は現場の工夫
でなんとかなるという枠
組みに押し込めようとし
ている。

採択 川畑 二美議員
阿久根市の活力になる

将来の阿久根市を背負
う子どもを育てるため
にも、阿久根市の活力に
なる。

採択 白石 純一議員
授業数減で社会的学びを

授業数、課題・宿題も
多い。経済成長時代には
効率的だったが、これか
らは創造性や非認知能力
が必要。

子どもたちが社会的な
学びをする時間も少な
く、社会との関わりを伸
ばすために、採択すべき。

令和7年第1回臨時会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名（議席番号順）														議決結果	
		大田 基次	川畑 二美	川原 慎一	大野 雅子	高崎 良二	渡辺 久治	竹之内 和満	白石 純一	竹原 信一	飯屋園 一徳	木下 孝行	山田 勝	濱田 洋一	牟田 学		
報告第3号	専決処分の承認について (阿久根市税条例の一部を改正する条例)	*	*	*	/	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	承認	
報告第4号	専決処分の承認について (阿久根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	◇	◆	◇	/	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	—	承認	
報告第5号	専決処分の承認について (令和6年度阿久根市一般会計補正予算（第11号）)	*	*	*	/	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	承認	
報告第6号	専決処分の承認について (令和6年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）)	*	*	*	/	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	承認	
議案第28号	監査委員の選任について	投票：賛成10・反対1														—	同意

【表の見方】 議：議案 請：請願 陳：陳情 意：意見書 *：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 /：欠席 -：表決権なし
・牟田学議員は議長職のため、議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。
・竹之内和満議員は、議案第28号は直接の利害関係のある事件であるため、表決権はありません。

令和7年第2回定例会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名（議席番号順）														議決結果	
		大田基次	川畑二美	川原慎一	大野雅子	高崎良二	渡辺久治	竹之内和満	白石純一	竹原信一	飯屋園一徳	木下孝行	山田勝	濱田洋一	牟田学		
議案第29号	教育委員会の委員の任命について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	同意	
議案第30号	阿久根市まちづくりビジョンに対する修正案	◆	◇	◆	◇	◆	◆	◇	◇	◆	◆	◆	◆	◆	—	否決	
	阿久根市まちづくりビジョンについて	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◆	◆	◇	◇	◇	◇	—	原案可決	
議案第31号	阿久根市税条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決	
議案第32号	阿久根市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決	
議案第33号	阿久根市給水条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決	
議案第34号	令和7年度阿久根市一般会計補正予算（第1号）	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	—	原案可決	
議案第35号	令和7年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決	
陳情第4号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択を求める陳情	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◆	◆	◇	◇	◇	◇	—	趣旨採択	
陳情第5号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択を求める陳情	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◆	◆	◇	◇	◇	◇	—	趣旨採択	

【表の見方】 議：議案 請：請願 陳：陳情 意：意見書 *：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 /：欠席 -：表決権なし
・牟田学議員は議長職のため、議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

各議員が市政を問う

一般質問

令和7年第2回定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。

1	渡辺 久治 議員「紫電改引揚げ」
2	白石 純一 議員「道路行政」
3	濱田 洋一 議員「西回り自動車道」
4	大田 基次 議員「華の50歳組」
5	大野 雅子 議員「地域防災」
6	川原 慎一 議員「ボッチャ大会」
7	川畑 二美 議員「物価高騰対策」
8	竹原 信一 議員「失敗の体質」
9	山田 勝 議員「ふるさと納税」

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報広聴委員会が編集したものです。

一般質問動画の視聴について

議員写真の左下にある二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、各議員の一般質問をYouTubeで視聴できます。視聴の際はデータ通信料が発生する場合がありますので御了承ください。

要請があれば、支援するか

内容等を踏まえ検討したい

渡辺 久治 議員

紫電改引揚げ

渡辺 直面している地方自治体として、何らかの形でこれを支援する考えがあるか。

市長 市民団体から今後要請があった場合、その内容等を踏まえ検討していきたい。

渡辺 機体の塩分を抜くのに、本市の閉校中の学校のプールを利用することができるか。



動画視聴



教育長 要請があった場合、検討していきたい。

渡辺 北薩の地域全体で戦争遺産として、残してもらいたい。

教育長 そのような相談があれば、検討したい。

渡辺 相談ではなく、私の考えだ。市長はどのように考えるか。

市長 決してそのような声を聞かないということではない。どのような支援ができるか、しっかりと考えていきたい。

学校の在り方について

渡辺 田代小・尾崎小・鶴川内中、7年度末で意



脇本海岸、折口沖に沈んでいる「紫電改」

見がまとまれば、9年度より統廃合を行うとしているが、現状をどのように認識しているか。

教育長 現在、意見の集約中であり、教育委員会の方針を示せる段階にない。意見集約終了後、十分に検討し、方針等を決定していきたい。

【その他の質問】

・洋上風力発電について
・在住外国人について

質問者のひとこと

今年は戦後80年、世界における日本の役割を考えたいものである。

鶴翔入口市道の拡幅を

令和10年度完成を目標

白石 純一 議員



動画視聴



道路行政

白石 国道3号から鶴翔高校に入る市道が1車線で渋滞、歩道もなく危険。拡幅の考えは。



大型バスも通行する1車線の市道は渋滞し、歩道もなく危険な通学路。早急な拡幅を。

市長 測量しており、用地取得し工事を進めたい。
白石 来年度中の完成などの目標は可能か。
都市建設課長 令和10年度の完成目標である。
白石 3年後とは遅い。早急にお願いしたい。旧広域農道の園田交差点に、西回り自動車道から国道3号へ直進の誘導標識を設置できないか。設置予定

で関係機関と協議する。
市立ハローワーク設置を
白石 市立ハローワークを設置しないか。
市長 現状、容易でない。
白石 いちき串木野市立ハローワークの求人情報は市内事業者と市民の求職者をマッチング、伊集院(阿久根で言えば出水)まで出かけず手続きできる。移住定住や福祉の部署とも連携しやすくなるが、検討しないか。
市長 自分の体験ではネットを活用している。このこと(ハローワーク設置)は考えていない。

質問者のひとこと

ハローワーク出水へ行く時間、交通費はかなりの負担。市立での設置を。

金婚式夫婦、市お祝いを

白石 金婚式迎える夫婦を市でお祝いしないか。

市長 平成8年度まで祝賀会開催していたが、高齢化率上昇で廃止した経緯踏まえ、考えていない。

土地開発公社との連携は

物件補償・用地取得を行う

濱田 洋一 議員



動画視聴



西回り自動車道

濱田 (仮称) 大川IC(仮称) 湯田西方ICの延長7.8kmについて、



南九州西回り自動車道「阿久根川内道路」

今後さらに加速させるため土地開発公社との連携をどのように進めるか。
都市建設課長 市境から尻無区と的場区の境付近までの間で物件補償及び用地取得を行う。
危機管理、防災減災対策
濱田 過去の災害や近年の全国各地で発生している災害・被害状況を踏ま

え、本市において、災害リスクの高い地域にどのような支援・助言・指針を図っていく考えか。
総務課長 地域の災害リスクを認識した上で、活動の充実と強化及び継続について、自主防災組織、関係機関と連携・共有を図り必要な支援を行う。

夜間中学

濱田 夜間中学の役割は。
教育長 義務教育未終了者の方や外国籍の方、不登校等の理由により、学び直しをしたい方々にとって学びの場の提供は、必要である。

濱田 比較的、交通の利便性がよい本市に夜間中学の設置を進める考えは。
教育長 候補地としては、条件を満たしており検討していきたい。

【その他の質問】

・原子力災害対策

質問者のひとこと

想定外のことをあえて想定することも必要。



動画視聴



阿久根の伝統行事

時代に即した支援

大田 基次 議員

華の50歳組

大田 学校の統廃合などにより、これから50歳組を迎える世代の中に取組を断念する世代が出てきているが、華の50歳組が本市の伝統として続いていくために、どのような支援を行っていくか。

市長 この素晴らしい伝統を本市の財産として後世まで大切に守り育てていくため、引き続き時代

に即した支援を行っていく。

ふるさと納税について

大田 本市が寄附先として選ばれるためには、返礼品の内容をますます充実させることが重要だと思うが、どのような工夫をしているか。

市長 返礼品の充実のため、市内事業者の方と連携を図りながら、新たにふるさと納税の返礼品として登録していただける商品がないか聞き取りを行うとともに、既存の返礼品の拡充等を提案させていただいている。



華の50歳組説明石碑

太陽光発電施設の送電線について

大田 番所丘公園に設置してある太陽光発電施設の送電線の一部が、排水路内に設置されているのはなぜか。

市長 園路付近の樹木の生育に支障をきたさないことと、来園者への快適な利用の妨げにならないように配慮した。

質問者のひとこと

ふるさと納税については、市民一丸となって取り組み、ますますの充実を。

避難情報のタイミングは

災害対策本部において検討

大野 雅子 議員

地域防災

大野 避難情報の発信は、どのようなタイミングで行っているか。

市長 情報収集、情報連絡体制を整える。災害対策本部を設置し、各関係機関との連携を図り、災害への対策を講じる。全職員にも昼夜を問わず連絡体制、気象情報の確認を指示、万全を期す。

大野 市民への災害発生



動画視聴



避難情報

避難情報の種類

災害が発生又は発生するおそれがある場合、阿久根市は次の避難情報を発令し避難のタイミングをお知らせします。災害時に備えて、各段階でとるべき行動をチェックしましょう。

〈避難情報等〉			〈防災気象情報〉	
警戒レベル	避難の動き	避難情報		
警戒レベル5	浸水の恐れがなく、堤から敷内と自宅の庭園などで安全を確保しましょう。	緊急安全確保	大雨特別警戒 注意警戒情報	
警戒レベル4までに必ず避難			土砂災害警戒情報 注意警戒情報	
警戒レベル4	危険な場所から立ち退きましょう。	避難指示	大雨・洪水警戒 注意警戒情報	
警戒レベル3	避難に時間がかかる高齢者や障がいのある方は、危険な場所から避難しましょう。	高齢者等避難	大雨・洪水・高潮 注意警戒情報	
警戒レベル2	避難に加え、ハザードマップ等により自ら危険な場所を避けて避難しましょう。	—	大雨・洪水・高潮 注意警戒情報	
警戒レベル1	防災気象情報等の最新情報に注意する等、災害への心構えを高めます。	—	早期注意警戒情報	

※1 避難の情報は、警戒レベル1～5の順番で発令されるものと想定されます。状況に応じて変更される場合があります。

情報は各自しっかりと命を守る行動を

予測段階での注意喚起はどうしているか。

総務課長 注意深く周知していく。

大野 避難行動要支援者の登録数は何名か。

市長 令和7年4月末で561名。

大野 避難行動要支援者の避難訓練は行われているか。

市長 健康リスクの恐れがあり実施していない。

こども家庭センター

大野 家事支援のできる事業、子育て世帯訪問支援事業を始めないのか。

こども保健課長 一定のニーズはあるだろうと認識。現時点では、民間サービス事業者へのつなぎを行っていく。

【その他の質問】

・夏場の熱中症対策
・第2副市長の担当事務は何か

質問者のひとこと

市民への早い段階での注意喚起のお知らせを増やす方が防災意識を高め、結果、命を守る行動につながるのではないかな。

教育の今年度新規事業は

小学生ポッチャ大会開催

川原 慎一 議員



11月に予定されているポッチャの大会

川原 新規事業として「中学生あくねの日」と「小学生交流ポッチャ大会」を開催される計画だが、内容と進捗状況は。

ポッチャ大会

教育長 「中学生あくねの日」は11月27日に実施する。教育のまちあくねを目指し、市全体で支える教育を実現するため、市内3中学校の生徒が一同に集い、共に学び合う体験活動を通して、連帯感を深めつつ、一体感を醸成する目的で、内容は学校紹介、レクリエーション、弁論大会、スコラ手帳を活用した手帳甲子園を考えている。



動画視聴



「小学生ポッチャ大会」は11月28日に全ての小学校参加で開催し、パラスポーツへ興味を持つと同時に、多様性の尊重や共生社会の実現に向け、児童の意識向上を図る目的である。必要な道具は5月末に各小学校に配布済みで、小学校ごとに教職員対象の研修会を実施予定である。

消防操法大会に代わる訓練は

川原 本年度は、操法大会を行わないとのことだが、大会を行わないことで消火活動に支障が出ることはないか。

市長 消防団本部では、消防技術の向上と継承を図るため、代替の訓練を実施し、さらに5月から7月までの間、操法を含めた自主訓練を10日以上行うように指示をした。

【その他の質問】

- ・旧栽培漁業センターの活用状況について
- ・青少年教育について

物価高騰対策について

総合的に判断して考える

川畑 二美 議員



生活に必要な品物が上がり、家計は大変

川畑 物価高騰しているが、市独自の物価対策としてどのような事業があるか。

物価高騰対策

市長 国の新たな経済対策として、指定管理者と協議し、検討する。

川畑 全世帯を対象にプレミアム商品券事業を行う考えはないか。

市長 物価高騰に伴う学校給食費物価高騰対策事業・保育所等給食支援事業・満18歳まで子育て世帯に対し子供一人当たり3万円給付し、経済的支援も行う。

るか。



動画視聴



策の動向なども踏まえて、効果的な事業の実施を総合的に判断してまいりたい。

阿久根大島について

川畑 船着場から海水浴場までの距離が遠いと市民の方々が話されて、椅子などの設置を考えてもえられないか。

市長 船着場から海水浴場までの歩道には椅子が設置されていない状況である。指定管理者と協議し、検討する。

商工観光課長 予算等の兼ね合いもあり、事業者と協議の上、対応できるか検討する。

【その他の質問】

- ・学校統廃合について
- ・不登校について
- ・防犯灯について
- ・川内原子力発電所について
- ・熱中症について

質問者のひとこと

市民への支援事業を考えるべきではないか。

問 大型投資に市民の意見は

答 反映のあり方は難しい

竹原 信一 議員

失敗の体質

竹原 市民が見ているのは結果。この10年で人口は2000人以上減少し、産業も増えていない。結果を見ない姿勢こそ失敗の体質では。

市長 何が失敗かはそれぞれの感覚。地域おこし協力隊の店がオープンしている。

竹原 阿久根駅は3000万円できると言っている。



阿久根に総額不明の投資
消滅危惧 図書館 新道の駅 建設費不明

2億円かけ、おれんじ鉄道株式会社から開業前に逃げられ、赤字を税金で補填し続けている。見合った成果を得ているか。

市長 阿久根駅では子供たちが安心して過ごせる時間を提供できている。

竹原 人口も税収も右肩下がり。道の駅、図書館、キャンプ場など箱物投資が縮小社会に合った施策だと言えるのか。

市長 交流人口の増加や、心豊かで元気のある社会を実現するための文化力の向上に寄与する施設であり、地域経済の活性化も期待できる。

竹原 維持費は50年間で2.4倍から3倍かかる、多額の維持費をどうやって支えるのか。

て支えるのか。

市長 市債残高は減り、基金は50億円増やした。できる限りの負担はしっかりと中長期的に保障しながら取り組んでいきたい。

竹原 市民のほとんどは決まったことを知らされただけ。意見を反映したとは言えないのでは。

市長 広報紙等を使って周知等々を行っている。市民の理解を深める方法を検討していきたい。

質問者のひとこと

新図書館に駐車場用地を買い足し、新道の駅は地質調査など建設準備中です。

問 納税増で市民サービス充実を

答 上野副市長を先頭に体制構築

山田 勝 議員

ふるさと納税

山田 ふるさと納税の制度が始まって17年、自治体の取り組み方によって寄附額と産業振興に大きな差が出ている。本市も全国100位になるくらいの寄附額があれば様々な市民サービスや特色ある施策が行えると思うが、本市の取り組み姿勢は十分だと言えるか。

市長 令和3年度からふ



ふるさと納税の「お礼品」

るさと納税推進係を設置し、3名の職員で市内業者ヒアリングを定期的に行い、新規登録商品の開拓など取組を進めて以降、増加傾向である。引き続き寄附額増額のため取組を進めていきたい。

山田 成果をあげている自治体を調査し、取組を改善する考えはないか。

市長 成果を上げている自治体の現状や取組体制、事業者との関係性の構築方法等を調査し、今後の参考にしたい。

山田 担当職員だけでなく全職員からアイデアを募集するなど全庁的に取り組む考えはないか。

市長 市全体の財源確保

副市長 個人的にも出張の際などPR活動している。県や総務省の情報を職員と共有し、阿久根の魅力発信に努めたい。全国の上位25パーセント程度に入っているが、それに甘んじることなく努力したい。



動画視聴



議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か



市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。グループ活動や学習の機会にぜひ傍聴にお越しください。

来られない方は、市ホームページ内、市議会ページの議会中継、中継録画をご利用ください。

一般傍聴席は4階です。

3階には、車椅子傍聴席もご用意しております。

令和7年第3回定例会の予定

令和7年第3回定例会の会期日程（案）をお知らせします。日程は諸事情により変更される場合がありますので、市ホームページ、防災行政無線の放送などでご確認をお願いします。

月	日	曜日	会議の内容
9	5	金	本会議（提案説明、質疑）
	10	水	本会議（一般質問）
	11	木	本会議（一般質問）
	12	金	委員会（条例、補正予算等の審査）
	16	火	委員会（条例、補正予算等の審査）
	25	木	本会議（委員会審査報告、表決）

市議会

インターネット

ライブ中継

はこちらから



過去の市議会

中継録画

はこちらから



本会議の記録

（会議録・平成13年度以降）

委員会記録の閲覧

はこちらから



委員から一言

「帰って来たガンマン」こと、私、6年ぶりに広報広聴委員会に帰ってまいりました。

議会の役割は、住民の代表としての議決権の行使、執行機関（行政）の監視、政策の立案・提言にあります。それらの流れを、あるがままに分かりやすくお知らせするのが、この委員会の使命の一つであり、「市議会だより」は、そのための重要なツールとなります。委員会の一委員として、市民の皆様方の有益な情報誌づくりに、精一杯務めてまいります。

（委員 渡辺 久治）

発行責任者

議長 牟田 学

広報広聴委員会

委員長 大野 雅子

副委員長 竹之内 和満

委員 川畑 二美

委員 川原 慎一

委員 渡辺 久治

委員 竹原 信一